

—かまくら認知症ネットワーク設立から今日までの様々なエピソードをお伝えします—

認知症になっても自分らしく暮らせるまちづくり・ひとづくり・つながりづくり⑩ 稲田秀樹

かまくら認知症ネットワーク代表理事
ケアサロンさくら 管理者

第4回Dシリーズ・富士宮市ソフトボール大会は降雨のため中止となった。試合は雨で流れたが、神奈川県内の支援者や当事者家族らが中心となって、認知症の人と家族の社会参加の充実を目的に、神奈川県内でのソフトボール大会の開催を模索し始めた。「DKリーグ・神奈川認知症ソフトボール大会」の名称が決まったのは4月8日のことだった。SNSで連絡を取り合っていた仲間から、藤沢市内のグラウンドを使わせてもらえそうだという情報も飛び込んできた。グラウンドのある藤沢市は、神奈川県の中央に位置していて、県内の様々な地域からでもアクセスが良い位置にあった。開催場所が決まったことで、DKリーグ実現へ向けて、大きな一歩を踏み出した。



一般に認知症の人と家族は、病気が進行していくにつれて社会参加がままならない状況が増えてくる。社会の偏見も社会参加を阻む要因となっている。このような認知症をめぐる状況は、バリアのない社会を目指すとき、真っ先に取り組むべき社会的課題であると私は考えている。DKリーグを通じて、地域の一人一人の認知症の人が力を存分に発揮してほしいと思った。そしてDKリーグに関わる沢山のひとと一緒に、障壁を一つ一つクリアしていく過程が、この取り組みの意義なのだろうと思った。まずは地域や周辺の仲間へと思いを伝えようと思い仲間へ伝えた。

それからは開催に向けての準備にも弾みがついたように思う。事務局を務める私のところへ様々なサポートの申し出が集まってきた。なかでも藤沢市家庭婦人ソフトボール連盟の全面的な協力は心強かった。公式審判員の派遣やグラウンド整備などに20名近くがボランティアとして参加してくれることになった。実行委員会を立ち上げて、認知症の当事者である中村成信さんに実行委員長をお願いした。中村成信さんが精神的支柱となったことは言うまでもない。ほかにも交流会の会場の予約、湘南台駅からグラウンドと交流会場を行き来するシャトルバスの手配など、たくさんの人の協力があって大会当日を迎えることができた。

赤とオレンジの2色のユニホームが晴天に揺らめいていた。グラウンドでは時折強風が砂埃を舞い上げていた。第1回大会には認知症の人15名を含む約50名とボランティア20名の計70名ほどが集結した。参加者の中には今年3月に富士宮市で行われたDシリーズへの参加をあきらめた人の姿もあった。開会式では藤沢市ソフトボール協会会長に挨拶を頂いた。最初の打者が打席に向かう。バットを握る手が、少し汗ばんでいた。



チャレンジしたいことが見つければ、本人も家族も実に生き活きしてくる。ヒデ2の近藤英男さん(64歳)は診断から7年、サーファーに復帰した川名賢次さん(60歳)は診断から8年、ひろし&キーボーの高井宏(65歳)さんは診断から9年になるという。DKリーグで実行委員長を務めた中村成信さん(67歳)は診断から11年が経過している。ご本人のできること、やりたいことを見つけて一緒にそれを実現させる過程が、今求められているサポートではないか。

鎌倉市内のオレンジカフェが5か所になりました！

7月8日(土)「今泉台オレンジカフェ」TEL0467-40-4210
7月2日(日)「由比ヶ浜オレンジカフェ」TEL0467-39-6087

8月20日(日)「小袋谷オレンジカフェ」TEL0467-53-7025
7月16日(日)「オレンジカフェだんだん」(西鎌倉) TEL0467-39-1525
8月20日(日)「梶原山オレンジカフェ」TEL0467-46-8233

7月・8月の予定

- 7月15日(土) 第14回かまくら磨き 鎌倉駅地下通路
- 7月19日(水) 運営会議 NPOセンター鎌倉
- 7月23日(日) 若年性認知症ほっとサロン たまなわ交流センター
- 8月15日(火) 認知症介護講座 鎌倉市福祉センター

★入会ご希望の方★TEL0467-47-6685、FAX0467-39-5490

入会申込書をHPよりダウンロード、FAXのうえ年会費をお振り込みください

1. 個人正会員 3000円
2. 個人賛助会員 2000円(一口以上)
3. 団体賛助会員 2000円(一口以上)

郵便振込口座 00240-8-140587 口座名 一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク

★運営スタッフ紹介★

こんにちは 川田順一です



会員になって4年が経過しました。会では事務局担当として会員の皆様の裏方を務めています。現在、行政書士として遺言、相続、成年後見を主な仕事としています。

会員になった動機は、認知症に関する知識が全く無かったため、これでは成年後見の仕事はできないと思ったことでした。会に参加したお陰で認知症に関する知識が増え、成年後見の仕事に役立っています。

認知症は、今の私にとってはまだ他人事ですが、団塊の世代である私にとって、会の行事等に積極的に関わることは、近い将来自分事になることを覚悟し、準備するという意味合いも出てきました。今後も会の運営や行事に積極的にに関わり、認知症の人が普通に暮らせる街の実現に寄与出来ればと思っています。

一般社団法人



35号

かまくら 認知症 ネットワーク

- 会報35号
- 2017年7月1日発行
- 編集発行人
一般社団法人かまくら認知症ネットワーク
〒247-0053 鎌倉市今泉台4-11-2
- TEL0467-47-6685
- HP <http://kamakuraninchishou.com/>
- 郵便振替
00240-8-140587
- 編集責任者 稲田秀樹



さわやかな風、快晴の空、バラと素敵なハーモニーに包まれた「かまくら散歩」でした♪

5月28日(日)、フラワーセンター大船植物園で、当会支援部会主催「第27回かまくら散歩～バラの香りに包まれて～」が実施されました。参加者は認知症ご本人・家族4組8名、ケアマネジャー1名、市民1名、地域包括支援センター職員2名、スタッフ5名、の17名が参加して行なわれました。日差しの強い日でしたが園内は涼しい風が吹き、今が盛りと咲き誇るバラ、咲き始めたハナショウブ、カンパニュラなどの花々が迎えてくれ、花のことを色々話しながら気持ち良く散歩することが出来ました。

白、ピンク、うす紫、紫のカンパニュラが私たちに覆いかぶさるように咲く中を通ると、ご本人から「グラデーションがいいね!」と感想が漏れました。またバラ園では色取り取りのバラに囲まれて記念撮

影をする人、「バラの妖精になりたい!」と楽しそうに話す人、家族同士の交流もありました。

展示場では日本自生アジサイとサツキの盆栽展をじっくりと鑑賞し「こんなに見事に育てるには何年くらいかかるんですか」と質問するご本人もおられました。

最後に、かまくら散歩では今回初の試みの「ヒデ2」のミニコンサート。藤棚のある木陰で二人の歌とギターに合わせて皆で歌いました。終始口笛を合わせてリズムを取るご本人や、ハーモニカで参加して下さるご家族もいました。いつの間にか1名くらいの他の来園者も立ち止まって聞いて下さいました。自分は若年性認知症なんだというご本人のトークに驚く方もおられました。声よし、ギターよし、トークよし、ハーモニカも最高でした! 散歩の様子はJCOMの鎌倉ニュースでも放送されました。(TK)

寄稿「温かい笑顔に包まれて・・・」 地域包括支援センターささりんどう鎌倉 古江 正人

この度、初めて包括職員二人で「かまくら散歩」に参加させていただきました。当日は快晴で正に散歩日和! 気持ちをワクワクさせながら集合場所へ行きました。皆さんと一緒に園内へ入ると沢山の方で賑わっていました。おしゃべりしながらお花を見、そして薔薇園に。丁度見頃で色とりどりの薔薇が咲き乱れて本当に見事でした。回りを見ると笑顔笑顔! 温かい笑顔と薔薇の香りに包まれて私とても温かい気持ちに。その後、ギターの弾き語りを聴きながら大合唱、みんなの気持ちがひとつになったと実感した瞬間でした。きっと他の参加された方々も同じ思いだったと思います。外に出て陽にあたり、風を感じて、緑の中に身を置き、ゆっくり流れる時間の中で、自然のありがたさを実感し、時間を共有できたことに幸せを感じました。私達、地域包括支援センターとしても地域の方々が安心して生活を送ることができるように、ひとつひとつ地域活動を重ねていかなければとあらためて感じました。



「平成29年度一般社団法人かまくら認知症ネットワーク総会・懇親会」鎌倉市福祉センター

年5月22日(月)18:30から鎌倉市福祉センター第1第2会議室において当会の平成29年度定時社員総会が開催されました。出席者数は議決権行使書提出者を含め63名でした。正社員数は106名でしたので、出席者数は過半数を超えており総会は有効に成立しました。

総会では、報告事項として平成28年度の事業報告が各担当理事からありました。また、議決事項として第1号議案である平成28年度決算報告と監査報告の説明があり、異議無く承認されました。また、第2号議案として平成29年度事業計画案及び予算案の説明があり異議無く承認されました。第3号議案は理事の改選期を迎えたため理事4名の再任と、退任される2名の理事の後任として2名の新任理事の就任が承認されました。

19時頃に総会が無事終了すると、場所を移して臨時理事会が開催され、稲田理事が引き続き代表理事を務めることが決定されました。

懇親会は、冒頭鎌倉市高齢者いきいき課の中野課長様からご自身の体験を交えたご挨拶をいただき、その

後当会の前身であるかまくら認知症ケア研究会の発足に深く関与されたケアマネジャーの青地千春様の発声で乾杯があり、賑やかな歓談が始まりました。

この度の懇親会では、知らないメンバーに囲まれて会話の輪に加われない方が出来ないように、40名の参加者を事前にグループ分けしておく等の工夫がされていました。暫く歓談があつて場の雰囲気盛り上がって来たところで、ヒデ2とひろし&き一坊のギター演奏と素敵な歌声が披露され、最後は会場の全員で「バラが咲いた」の合唱となりました。

認知症になってからでも、熱中できることがあると隠れていた能力が蘇り、生き生きとなるものだと、2組の当事者の方の演奏から実感することが出来ました。市内に多くいらっしゃる認知症の方々にも、このような場や、さまざまな参加の機会が提供できると良いと感じました。(KWT)



ご挨拶頂く中野さつき課長



平成29年度事業計画案予算案は全会一致で承認されました！

- ★若年性認知症支援事業(鎌倉市委託事業)

若年性認知症の本人・家族、支援者らがどうサロンと若年性認知症講演会を実施します。
- ★かまくら散歩 年4回 支援部会

認知症の人・家族、支援者、中高生、市民らが交流しながら市内の公園などで散策を楽しむ活動です。
- ★かまくら磨き 年3回 支援部会

・認知症の人の社会参加の活動、市内の団体と協働で外壁清掃などの町美化活動を行います。
- ★認知症介護講座 年1回 研修部会

・認知症の疾患の基礎的理解を深めたいうえで、本人本位のケアの基本や対応のポイントを学びます。
- ★認知症医学講座 年1回 研修部会

認知症の医学的理解を深め、知っておきたい基本を学び、最新の医療情報を提供します。

- ★認知症専門講座 年1回 研修部会

介護医療の専門職が困難ケースへの対応力、支援力を身につけます。
- ★会報・ホームページ 広報部会

会の活動や予定、地域の情報をわかりやすく掲載
- ★サポーターズメーリングリスト 広報部会

認知症サポーターのための情報共有システム
- ★地域連携ミーティング 年3回 まちづくり部会

認知症の人が暮らしやすい地域づくりについて、当事者、市民、介護医療関係者で意見交換を行います。
- ★認知症サポーター養成講座 随時 まちづくり部会

認知症の理解、関わり方等について学ぶ講座です。
- ★オレンジカフェ(認知症カフェ)の支援 まちづくり部会

・オレンジカフェの立上げ時の助言等を行ないます。
- ★事務局 会議の準備、議事録、名簿の作成、会計を担当。



地域の動き「DKリーグ・神奈川認知症ソフトボール大会」 神奈川認知症ソフトボール大会実行委員会

6月10日に神奈川県藤沢市の葛原スポーツ広場で第1回DKリーグ・神奈川認知症ソフトボール大会が、藤沢市ソフトボール協会、藤沢市家庭婦人ソフトボール連盟の協力のもと行なわれました。当日は神奈川県内から認知症の人15名、家族、サポーターなど約50名が集まり、盛大に大会が開催されました。

開会式では、藤沢市ソフトボール協会会長よりご挨拶を頂き、また認知症当事者で大会実行委員長の中村成信さんより「多くの関係者の協力で開催できたこの大会を楽しみましょう！」と開会宣言があり、大会が幕を開けました。

試合は神奈川南エンジェルス対神奈川北MMシュガーによる白熱した打ち合いとなりましたが、経験に勝

るエンジェルスが18対2で勝利し第1回大会の優勝杯を受け取りました。

試合後は会場を変えて交流会が行なわれ、乾杯に引き続いて認知症当事者らによるコンサートなどが行なわれました。選手として参加したご本人からは、「野球は高校時代にやりましたから、楽しかったですよ」と感想を話してくれました。「DKリーグ」は今後も定期的に開催していきます。(IN)



地域の動き「メイクアップショー」鎌倉市福祉センター 鎌倉市

5月27日(10:30~12:40)、鎌倉市福祉センターにおいて、第6回メイクアップショーが行われました。鎌倉市内外の19の介護事業所の有志がボランティアで参加して開催されました。

半年前から準備を始め、「バラと富士山」をテーマに決め、参加事業所の方がバラを沢山作って持ち寄り、前日会場の飾り付けを行ないました。地域包括支援センターの相談員の方の声掛けで独居のお年寄りもバラ作りを手伝って下さり、当日見学にも来て下さいました。当日、各事業所からご利用者、ご家族、介護者、その他お手伝いの方々を含め、100名程の参加者がありました。

5人のメイクのプロによって14名の方が美しくなられ、生演奏をバックに素敵な男性のエスコートを受けてお披露目されました。見守るご家族とともに、皆楽しいひと時を過ごされました。ある参加者の付き添いの方が「お披露目の時に、本人の大好きな東京音頭を演奏してくださり、嬉しくなって歌いながら踊りだし、会場全体がその喜びを共有しているかのようで、本当に感動しました。ホームでは一日中俯いて過ごされている方なので…」と感想を述べていらしたのが印象的でした。(YK)



地域の動き「ヒデ2による語りとミニコンサート」ピーマンの会 今泉台町内会館

6月11日(日)、10:30~11:30まで、今泉台町内会館にて、町内有志主催の高齢者の交流と昼食会「ピーマンの会」に地域の高齢者40名程度が集まり、若年性認知症の近藤英男さん(64歳)と当会代表の稲田秀樹さん(56歳)によるヒデ2の「認知症にまつわる語りとミニコンサート」を楽しみました。

前半は営業職として働いていた頃の近藤さんの認知症の発症前後の様子や病気の診断について、また配置転換となり働き続けたこと、当時の会社の対応について、近藤英男さんご本人に話してもらい、奥様の小夜子さんがとところどころ話を補足してくれました。普段から明るい性格の近藤さんですが、57歳の時

に若年性アルツハイマー病という診断を受けた時には、「さすがにしんどかったです」と胸の内も語ってくれました。

語りの後はヒデ2による演奏となり、「真夜中のギター」や「亜麻色の髪の乙女」などの懐かしい5つの曲を素敵なハーモニーで聴かせてくれました。会場からは「とても認知症の人の演奏とは思えない」という感嘆の声もあがり、素敵な時間を過ごしました。(MT)



会社より、改善が見られず、専門医の診断をすすめられ、57歳のとき、若年性アルツハイマー病とわかりました